

四季彩り

私は米国の次期大統領選において、トランプ氏再選の可能性は低いとみています。その際よく受けるのが、民主党の左派系の候補者が当選した場合、株価が下落するのではないかという質問です。今回は、トランプ氏の続投と民主党の左派系候補者の当選とどちらが株式市場にプラスか考えてみようと思います。

仮にエリザベス・ウォーレン氏のような左派系の候補者が当選しても、株価は上昇すると考えます。その理由は三つあります。

第一に、トランプ氏が退陣

西村証券チーフストラテジスト

門司 総一郎

トランプ落選で株価上昇

すれば現在の株式市場の重荷になっている材料のいくつかを取り除かれるからです。典型が貿易戦争です。これを見ているのは世界中でトランプ氏とその側近の保護貿易主



義者だけです。トランプ氏が落選すると貿易戦争は自然消滅すると考えています。

第二は、金利の正常化が期待できることです。トランプ氏が米連邦準備制度理事会

(FRB)に圧力をかけて政策金利を引き下げさせているため、米国だけでなく世界中の金利が低い水準に抑えられていると考えています。これは金融株にとつての悪材料となつていますが、トランプ氏が退陣すれば金利上昇が予想されるため、金融株にとつては好材料になるでしょう。

第三は、気持ちの問題です。景気や業績に直接関係なくとも、気持ちの変化で株価は上昇することがあります。例えば第2次安倍政権の発足時に

株価は急騰しましたが、もともと株式市場で安倍氏の評判はあまり良くありませんでした。これは短命に終わった第1次安倍内閣の記憶が市場参加者の間に残っていたため

す。ちなみに期待感が強かったのは、小泉純一郎元首相の再登板でした。

それでもふたを開けると株式市場が急騰したのは、安倍氏への期待というより民主党政権が終わることへの安堵感(あんどかん)が強かったためと考えます。いま米国民の間では、もしトランプ氏が落選することになれば、トランプ政権が終わったという安堵から株価は上昇すると見えています。

もんじ・そういちろう 1962年、福岡県生まれ。東京大学法学部卒。85年、大和証券入社。大和住銀投信投資顧問(現三井住友DSアセットマネージメント)で長く投資戦略に携わり、2019年10月に西村証券(京都市下京区)のチーフストラテジストに就任した。